

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間発達学	NSF12_005	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
飯嶋 玲奈	405	reina.iijima	水曜日 9:00~13:00		
授業の目的・概要	人間発達学では、発達がどのようなものなのか、人体構造機能学と関連させて、発達する生命体としての人間に対する理解を深めることを目的とする。講義では、人間を生涯発達の視点で捉え、人間発達の共通性と特異性を教授し、生涯を通じて各発達段階における発達課題と看護援助の視点の理解を深める。それらを踏まえて、生涯発達の視点で、過去と現在そして未来の自己を見つめ、自分史を作成する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ブレインション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	身体面の発達は人体構造機能学と関連づけて学修する。心理・社会面の発達は、看護の各領域別の概論に結びつけて学修する。また、各自に与えられた課題について、教科書、参考書などを活用し取り組むことが望ましい。				
教科書	看護のための人間発達学 第5版 /著:舟島なをみ、望月美知代 /医学書院 /2017				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯人間発達論 第3版 /著:服部祥子 /医学書院 /2020 ・イラストと動画で学ぼう！人間発達学 第1版 /編:笹田哲 /株式会社診断と治療社 /2023 ・イラストでわかる人間発達学 第1版 /監修:上杉雅之 /医歯薬出版株式会社 /2015 ・成人発達心理学 /編著:星薫 /放送大学教育振興会 /2017 ・成人の発達と学習 /著:岩崎久美子 /放送大学教育振興会 /2025 				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	各発達段階の危機・課題・役割について説明することができる。		HSU(1)(3),NS(1)(3)		
②	人間の発達を生涯発達として捉え、対象理解に応用することができる。		HSU(1)(3),NS(1)(3)		
③	人間の発達の多様性について考えることができる。		HSU(1)(3),NS(1)(3)		
④	自分の生涯発達について考えることができる。		HSU(1)(3),NS(1)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 発達の定義、発達区分、発達理論の基礎	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
2	発達理論(エリクソン、ピアジェ)	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
3	胎児期(受精から誕生まで)の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
4	乳幼児期の発達①	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
5	乳幼児期の発達②/学童期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
6	思春期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
7	青年期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
8	成人期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
9	成熟期・更年期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
10	老年期の発達	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】自分史の構想	2	
11	自分史の作成	演習	【復習】発表の資料の修正 【予習】発表の準備、練習	3	
12	自分史の発表①	演習	【復習】発表の振り返り	2	
13	自分史の発表②	演習	【復習】発表の振り返り 【予習】次回分の教科書を読む	2	
14	自分史の発表③	講義	【復習】既習内容、教科書を読む 【予習】次回分の教科書を読む	2	
15	生涯発達に影響を与える因子や統計	講義	【復習】既習内容を振り返り、まとめを行う	2	
試	試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	5	0	0	0	75
	思考・推論・創造する力	10	5	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験では、授業の内容に基づく問題を出題し、知識を問う。				試験の返却 講評・解説の提示
	②	✓					
	③	✓					
	④						
レポート	①	✓	演習課題に対する内容の適切性、知識、思考する力、表現伝達する力を問う。				レポートおよび発表に対するコメント記載の上、返却する。
	②						
	③						
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	総合周産期母子医療センターにおいて助産師として、5年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の8年の教育経験を有する者が教授する。						
実践的授業の内容	助産師として様々な発達段階の対象者に関わった実践経験を踏まえながら、各発達段階の特徴や課題・役割獲得・危機などについて教授する。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の生い立ちの記録(母子手帳など)を手元に準備しておくで学修の助けになります。 ・講義資料は事前に Teams 内に格納します。またレポートの提出や授業のフィードバックなどにおいても Teams や Forms を広く活用します。デバイスの準備(持参、充電)やログインなど自身の準備体制をきちんと整えたうえで授業に出席するようにしてください。 						